

退職代行の功罪

「大退職時代」に迫られる対応とは

うみの あさひ
海野 朝日
(しがく総合研究所)

4月1日。人それぞれ新たな節目を迎える日であり、晴れやかなイメージを持たれることが多いだろう。しかし、その翌日に衝撃的なニュースが飛び交った。「退職代行を入社式の後すぐに利用した」新入社員がいたというのだ。それも一件ではない。2025年度に入り、本稿執筆時点では退職代行の利用件数は例年にないほど勢いを増しており、世はまさに「大退職時代」を迎えたと言っている。本稿では、こうした時

代に企業に求められることは何かを探りたい。

少子高齢化と転職の活発化が

企業の人手不足に拍車

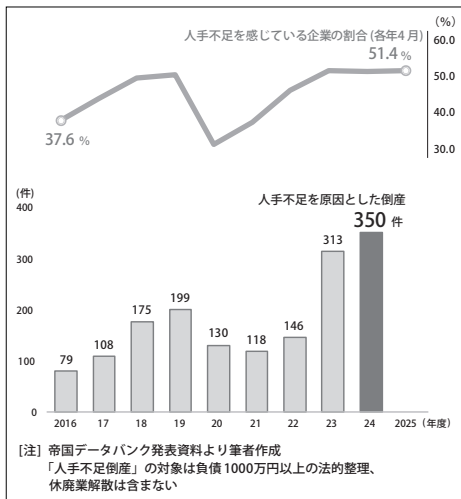
企業は少子高齢化の進行に伴う深刻な人手不足に苦しんでいる。帝国データバンクのアンケート調査では、2025年4月時点で人手不足を感じている企業の割合は51・4%におよび、過去最高に近い水準で高止まりしている。現時

点で2社に1社が人手不足を抱えているというだけでもその深刻さがうかがえるだろう。加えて労働政策研究・研修機構の推計などを見ると、中長期的な労働人口の減少が明確に予測されている。短期目線でも中長期的な目線でも、人手不足が改善に向かう要素は乏しい。

企業にとっては人材の確保・定着がカギとなるとところに、労働者による転職の活発化が重なっている。2022年以降、物価上昇によって食品や日用品などの値上げが進み賃上げ機運が広がったことで、より高い賃金を求めて転職をする労働者が増えた。労働力調査によると、転職等希望者数は2022年から一気に増加ペースが加速し、直近2年連続で1000万人を上回った。さらに各種転職エージェントが発表している転職件数の推移を見ても、増加基調は明らかだ。

大企業を中心に初任給が30万円を超えるようになり、追従が難しい中小企業にとっては厳しい局面を迎えている。人手不足に歯止めがかからず、倒産に追い込まれた企業は年々増えている。

図. 人手不足企業の割合・人手不足倒産の件数推移



る。人材の確保・定着に向けて、対策は待ったなしだ。

退職代行の流行は

人材の質を低下させる

少子高齢化による構造的な人材不足と転職の活発化で人材定着が難しい状況下で、急速に拡大しているのが退職代行サービスだ。斬新なビジネスであることが相まってか、一気に知られるようになった。退職代行の運営企業の理念には、「人の選択肢を増やす」ことを掲げるケースが目立つ。辞めたくても辞められない労働者にとってスムーズに退職できる環境を整えることで、その人にとっての可能性、今後の選択肢を増やせるというわけだ。

者・転職者が生まれた社会現象を「大退職時代（グレート・レジグネーション）」と呼んでいるが、これまで以上に人材の流動化が進む日本でも、そのように表現できるのではないだろうか。

求められる人材確保策とは

どのように人手不足を解消させるかは、今後企業にとって看過できない重要テーマとなるだろう。深刻な人手不足、転職市場の活発化、さらに退職代行の拡大……人材の流動化が顕著であるなか、何が企業に求められるのだろうか。

参考となるのが、人手不足への対応策が奏功している企業の事例だろう。例えば、とある地方の建設会社は設立から間もないながらもSNSを活用し企業のイメージアップを図り、若年

労働者にとっては救いの一手となり得るが、企業の視点から見れば望ましいことはそう多くないだろう。何より、従業員の退職を恐れて踏み込んだ指導を行えず、従来どおりの適切な指導をためらうことで人材の質が低下する事態を招きかねない。結果として仕事の質が低いうえ十分に教育がなされない「能力の低い人材」が増えていけば、企業の競争力が弱まるのは目に見えている。

日本では長く終身雇用が慣習化していた一方で、活況な転職市場に加えて退職代行も一般化しつつあり、仕事を辞めることへのハードルは下がり、企業の人手不足をさらに加速させる要因となっている。新型コロナウイルスが蔓延した2020年以降に、アメリカで多くの退職

層の従業員が増加した。また別の地方企業では、オフィスを東京の都心部「丸の内」のような現代風にアレンジし、人気が高まったことで人材の採用・定着につながった。そのいずれも地域内・業界内でユニークな取り組みであることから差別化を果たし、選ばれる存在となった。

わかりやすい賃金アップだけでなく、その企業ならではの魅力を作り、訴求することで状況は変わる可能性があるということである。

経済の根幹は「ヒト・モノ・カネ」と言われるが、なかでも人材は最も重要な資源だ。大退職時代に突入したいま、こうした取り組みを講じられるかが事業継続を大きく左右する。人口減少を前に、退職代行に恐れをなして無策のままでいては、衰退を待つのみである。

